

若手研究者コラムリレー

森井 亮和（もりいりょうたか）

プロフィール

大阪教育大学表現活動教育系保健体育部門 特任講師
日本体育・スポーツ・健康学会の専門領域: 体育方法・体育科教育

奈良県出身

2017年 筑波大学大学院人間総合科学研究科修了、修士(体育学)
2017年～2019年 福岡大学スポーツ科学部 助教
2018年～現在 国際体操連盟公認体操競技男子国際審判員
2018年～2019年 日本オリンピック委員会強化スタッフ
2019年～2023年 鹿児島大学教育学部保健体育科 特任講師
2023年4月より 現職



2016 全日本シニア大会にて

わたしの研究

体操競技の技・技術の発達史

現在、私が軸にしている研究は体操競技の技術発達史です。体操競技では、新しく発表された技が全てが伝承されてゆくわけではありません。今日まで受け継がれ発展してきた技があれば、歴史的な流れの中で淘汰されていく技もあります。このような事態の背景には、体操競技の中で歴史的に形成・共有されている価値観の変化が影響しております。体操競技特有の価値観の移り変わりを認識しなければ、先を見据えた計画的な技術トレーニングを遂行することは難しくなるでしょうし、さらには、場当たり的な規則が設定されて競技実践の場に混乱をもたらすことも危惧されます。

これまでの研究では、主に1970年代以降の時代のゆか運動を対象として、技の発展経緯やその要因を考察し、その背景に働いている価値観の移り変わりを考察してきました。どのような種目においても、今日の技や技術の本質的構造を理解するためには、その歴史を振り返ることを抜きにはできないのではないのでしょうか。技術発達史的研究は、体操競技以外の競技においても重要な研究課題であると考えております。

わたしの渾身の論文・書籍・記事

必読

- 森井亮和, 渡辺良夫(2019) 男子ゆか運動の宙返りに関する技術発達史的研究: 1970年代から1980年代にかけて. 体育学研究 64巻1号: pp.213-227.
- 森井亮和(2021) 男子ゆか運動における宙返り技群の発展傾向とその要因に関する研究 - 1990年代以降の時代を対象として - コーチング学研究, 第35巻第1号, pp.31-42.

(なんでも帳)

私は長年、競技者あるいは指導者・研究者として体操競技・器械運動に関わってきました。日本オリンピック委員会強化スタッフとして国内トップレベルのコーチングに携わってきた一方で、幼稚園児、小学生、中学生を対象とした運動指導も数多く行ってきました。私はこうした現場での実践知を教育・研究を通して現場に還元していきたいと考えております。

研究領域はスポーツ運動学(発生運動学)となります。私を含め、発生運動学の専門家は、現場を知り尽くした人にしか掘り下げるのでできない「深い洞察」を提示することに大きな意義があると考え、研究活動を行っております。現場の指導者の実践知を明らかにしてゆくという点で体育・スポーツ現場にとっては欠かせない重要な分野であると考えております。

若手の会・学会の皆様、日々の研究や体育・スポーツの指導現場のことについて、機会があればお話しさせてください!!



大阪教育大学の体操競技場

日本体育・スポーツ・健康学会
若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育・スポーツ・健康学会若手の会が発足しました! → メーリングリスト登録フォーム:

<https://goo.gl/forms/zGMPdPq5fY3kcB5q2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

taiikugakkaiwakate@gmail.com

